

## 由利本荘市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因と見られる異常気象が世界各地で確認され、国内でも強い台風や集中豪雨等の極端な気象現象が観測されています。

私たちが住む由利本荘市においても、局地的な豪雨や豪雪などの自然災害が発生しており、地球温暖化問題は、市民一人ひとりにとって、解決しなければならない、とても重大な問題です。

国際社会においては、2015年のパリ協定及び2021年のグラスゴー気候合意において、「世界全体の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑える努力を追求する」ことなどが示され、我が国でも、2020年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

由利本荘市は、面積の約75%を占める豊かな山林により二酸化炭素の吸収に貢献しているほか、国内有数の風力発電の適地として、全国トップクラスの発電出力を有し、2030年には本市沖において国内最大級の洋上風力発電の稼働が予定されるなど、温室効果ガス削減に貢献しています。

しかしながら、世界を見渡すと依然として異常気象が続いており、私たち一人ひとりが、この問題を自分のこととして考え、豊かな生命を育む地球を次の世代に継承することは、今を生きる私たちの責務です。一人ひとりの取り組みは小さくても、行動を変えることで、地域が、秋田が、そして地球の未来が変わります。

私たちは、国際社会の一員として脱炭素に向けた責任と役割を果たしつつ、将来世代に緑豊かな自然を有したふるさとを引き継ぎ、持続可能な社会へシフトするため、市民、事業者、各種団体、行政が連携・協議し、2050年までに二酸化炭素を実質排出ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に取り組むことを、ここに宣言します。

令和5年2月8日

由利本荘市長

湊 貴信